

さざなみ

第113号

〔ミッション〕 私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

〔ビジョン〕 豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。

社会福祉法人 横の里
いすみ学園

「高齢対策検討委員会報告」 概要説明（その一）

理事長 岡部 一 邦

利用者の高齢・虚弱化に対応すべく「高齢対策検討委員会」で検討作業を続けてきましたが、今般「報告書」をとりまとめ、職員、保護者をはじめ関係者の皆様に配布し、ご覧いただきました。

その詳細を「さざなみ」で逐次紹介させていただき、旨お約束しておりましたので、高齢対策をよりご理解いただくことを願って、概要とポイントについて、私見を交えて報告して参ります。先ず今回は「はじめに」についてです。ここでは、「いすみ学園」開設後、今日までの実践と成果、そして利用者の生活の変遷と近況、高齢対策の必要性と対応策等が簡潔に記述されていますので、全文を紹介いたします。（○部分が報告書、※が私見となります。）

○いすみ学園は、昭和59年4月、自閉症を中心に知的障がい者の「豊かな人生」を支援することを目指して、この「いすみ」の地に開設されました。※当時、東京都には自閉症者を対象とする生活施設は未整備状態で、障がい特性を受け止められる施設の整備が求められていました。当学園は、そうした期待に応え東京都の都外独占施設として開設されました。○当初は療育支援に関する知見も十分ではなく、全てが手探り状態での支援活動でした。しかし、若く澁刺とした利用者と共に様々な活動を展開する中で、日々の実践が実を結び、学園内で様々な生産活動を行うと共に、一般就労やグループ実習をはじめ、地域社会での活動を展開するま

でに至りました。※6つの作業班での日中活動、水産加工会社へのグループ実習、グループホームからの一般就労と、働くことを生活の中心とした処遇体制は、利用者と共に築いてきた当園の実践の成果であります。

○しかしながら、開設35年が経過する中で、利用者の情緒や身体状況に様々な変化が顕在化してきました。起居動作や移動、食事、排泄などの日常生活動作（ADL）において、時間を要し、介護の範囲が拡大する状況が顕在化してきております。介護を要する利用者の増加に伴い、従来の日中活動や生活介護のあり方について、適切な対応策を講ずることが求められております。

※開設当時18歳だった利用者も50歳を超え、平均年齢は男性49歳、女性53歳となりました。平成30年1月現在で50歳以上の34名の利用者について5年前と現在の状況を確認し、その変化から5年後を想定するという作業を通じて、対策が急務であることを確認しました。

○こうした問題意識を持つて、利用者的高齢虚弱化問題に対応するため「高齢者検討委員会」を中心に、今後必要となる対策について検討を重ねて参りました。

検討したテーマは①日中活動のありかた②生活介護、医療支援のあり方③生活環境の整備（新棟建設）について、であります。※前理事長の下で検討されてきた「新

棟建設問題」、所謂ハードウェアのテーマに加えて、日中活動、生活介護・医療支援などのソフトウェアについても幅広い課題を検討しました。○当学園は

- ・ミッション「豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として利用者とともに歩み続けます。」
- ・ビジョン「私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を挙げて支援を行います。」

を掲げて歩んで参りました。これからも、この理想を高く掲げて、高齢期を迎える利用者の「豊かな人生」を支援して参ります。当学園が、利用者の「終の棲家」として、その人生を支え続けることができるよう、本報告書を基に礎に、支援策の充実強化に邁進して参ります。

※学園のミッションとビジョンは、自閉症者と共に歩む矜持を明らかにしたものと理解しています。これからもこの立位置を変えることはありません。高齢期を迎える利用者の皆さんの人生に、これからも寄り添い続ける決意を込めて「終の棲家」を宣言しました。

そのために学園は「何をしなければならぬのか、何が出来るのか」を真剣に検討してきました。引き続き、次号で詳細を報告して参ります。



職員としての心構え

支援課長 堂 下

勉

いすみ学園には「学園紀要」というバイブル的な書がある。いすみ学園の創設にあたり、運動の過程で実到大勢の方々から、有形無形のご支援を賜った。とりわけ学園の理念的支柱となった小杉長平先生による「これからの施設に望むこと」、十亀史郎先生には「対等の立場に立て良き隣人たれ」、そして池田太郎先生におかれましては「人間らしさを求めて」を、それぞれまことに適切な時期に、卓越したご講演を賜った。

障がい福祉への「志」を抱く我々や関係者諸氏は深く感銘を受け、法人理念の礎となったことは言うまでもない事であり、福祉人としての心構えを維持していく私たちの「心」のより所に今も変わらず存在している。時には自分自身の支援の在り方に滅入ったとき、「学園紀要」の一節に一助を得た経験は、私だけではないだろう。

今、様々な場面で弱者への悲報が相次ぐ悲しい事件が勃発している。「理念」の欠如を感じると同時に、私的には、「負のスパイラル」に陥った現象と感じてしまう。私たちは利用者の人生の伴走者として従事していく姿勢が原則である事を、どれだけ職員が共

有できるかが、事業所の「質」の違いの大きな一因となると言えるのではないか。

物事の多くは、世代によって変化していくものだが、「法人理念」は変わるものではない。ただ継承していく事は容易いことではない事も理解している。今、私たちは、利用者の「人生」に向き合っていると云っても過言ではない。利用者の生活様式に違いが大きななり、「老い」または若年期からの行動特性による「虚弱」という自然の流れに応じた暮らしの提供に全力を注いでいる。今、まさに舵を方向付けているさなかである。いすみ学園の今日、多くの利用者の社会参加や「個別」を尊重した事業展開を進めてこられたのも、いすみ学園の「法人理念」を理解し、携わる職員の協力なしには成し遂げられなかったと言える。「志」半ばで逝去された、元いすみ学園園長である。原井利夫氏の遺言として「法人理念」の水脈は後世に伝えていく所存である。



自閉症と高齢化

支援主任 軽 込 進 一

自閉症は1943年のカナーによる報告からさまざまにその見解が変遷してきたが、根源的な障がいは「人あるいは環境に対して、通常の方法での関わりが苦手であるか、その方法そのものの習得がしにくい。さらに関わりそのものを必要としないかのように見える」ということであろう。これを指す用語として「自閉 (autism)」ということばが充てられたが、自閉症の実態と言葉との間が大きく剥離して、さまざまな誤解を生んできたと言える。

幼少期の自閉症児者は、環境（ヒト・モノ・音など、外界からの情報のほぼすべて）による圧力があまりにもひどいため、みずから感覚を遮断するかのような状態をとることがある。これは確かに一種の自閉のように見えるが、これはかれらの本質ではない。成長に伴って徐々に必要な情報を取り入れて外界を彼らなりに理解、整理しようとする努力している。その最たるものが「人との情緒的な交流」である。青年期、成人期を経て人とのかわりを学んでいくと、かれらは「自閉」ということばが嘘のように人とのかわりを求めていく様子がかがえる。確かに

スキル獲得は難しいので、その方法が「こだわり」と呼ばれて望ましい形とならないことも多い。

このように自閉症の根源的な問題が少しずつ消化されていくと同時に、高齢化という新たな課題が浮上する。自閉症は脳の機能的な障がいであるため、脳がコントロールする筋肉や神経系、内分泌系などにも影響を与えることが多い。そのため行動はコントロールできないのに骨が弱ることによる骨折や、筋肉や内分泌系の問題で内科系の疾患にかかるリスクも高くなる。自閉症の人の場合、人との情緒的交流がある程度クリアしてきたときに、医療という新たな環境の理解をする必要が高まるのである。

自閉症の環境に対する過敏性は、年齢を重ねても下がらないものも多く、医療はおそらくその最たるものの一つである。これと向き合う時には家族や職員への信頼感で乗り越えられることもあるが、対人的な個別配慮は必須である。人はだれしも「老い」ということに対する受容と対応とに戸惑うことがある。彼らにも同じことがいえるが、「老い」と「医療」に対する個別化はすでに始まっている。

班旅行 一班

去る令和元年5月29〜30日に、1班メンバーは学園旅行に行きました。今年度は東武動物公園に行き、かんぼの宿青梅に泊まりました。お天気に恵まれ、東武動物公園では広い園内を小グループに分かれて動き、人気ナンバーワンのホワイトタイガーに会いに行ったり、花々で飾られた公園を散策したりしました。宿では夕食の宴会や大浴場での入浴、朝食バイキングなど、旅ならではの楽しみを味わいました。学園旅行は「共に働く仲間と日頃の労をねぎらう」年に一度の宿泊外出なので、皆さんの期待も大きいです。実施にあたり、予算や日程割り振り、チャリティー協会の補助(宿泊割引)のある宿に限られていること、利用者の高齢化に伴い身体面の配慮点が増えたことなど制限もありますが、今回も個々にアンケートを用いた聞き取りを行い(言葉がない方はご家族の意見を伺ったりして)反映させました。また来年も、楽しい時間を一緒に過ごすのを楽しみにしています。



(支援員 鈴木 典子)

班旅行 万木工舎

万木工舎は日帰りチームと1泊チームで班旅行に行つて来ました。1泊チームは、6月6日〜7日にかけて茨城方面に出掛けました。1日は晴天に恵まれ、ひたち海浜公園で様々なアトラクションを楽しみました。宿は「いこいの村 潤沼」に泊まりました。温泉に入ったり、皆でゲームセンターに行ったりとホテルを満喫しました。2日目は天気が崩れましたが、銚田市のメロン農園に行き、採れたてのメロンを食べました。なかなか大きなメロンでしたが、皆さんペロリと平らげていました。皆さん笑顔の多い2日間でした。

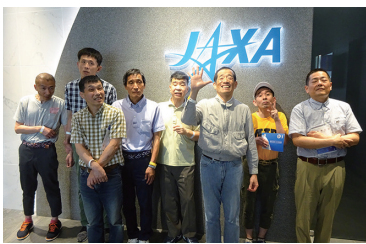


日帰りチームは、ゆつくりと1日を楽しむという事で、茂原レイクウッズガーデンと、同市内の和食レストランでランチを楽しみました。レイクウッズガーデンではびわジュースで一息つきました。その後はバラ園を散策しました。天候にも恵まれ、バラの香りが心地よく感じる園内をゆつくりと散歩しました。ランチでは、和食を楽しみました。最後にデザートも食べてのんびりとした1日を満喫しました。

(支援員 高地 優輔)

班旅行 G実習B班

令和元年七月十八日(木)〜十九日(金)1泊2日で茨城方面に旅行に行つて来ました。例年だと九月に実施していましたが、今年度は七月に班旅行を行いました。天候にも恵まれ楽しい旅行を満喫できたと思います。当日、普段通り朝食を済ませてから学園を出発して、茨城県の筑波にあるJAXA筑波宇宙センターに向かいました。数日前にTVで「はやぶさ2」が小惑星リュウグウへの2回目のタッチダウンを成功させたJAXAです。実際の管制室や展示物、ビデオを興味心身で静かに見学してきました。その後、昼食を済ませてから、国内で二番目に大きな湖「霞ヶ浦」でクルージングを楽しみました。今回の宿は、かんぼの宿・大洗。眼下に太平洋が広がる海沿いの宿です。ゆつくり温泉につかり、地元の食材を使った季節の会席料理にカラオケを楽しんで来ました。2日目は、宿から直ぐの「アクアワールド大洗水族館」をゆつくり見学。日本トップクラスの規模を誇り、シンボルとなっている多くのサメやイルカ・アシカのショーを見ってきました。海の生き物に癒されたひと時でした。帰りには、圏央道からも見える世界最大級の「牛久大仏」その胎内、光の幻想的な世界を味わってきました。それが、それが楽しい思い出をまた一つ増やせた旅行であれば幸いです。



(支援員 泰居 容一)

夏祭り

令和の時代を迎えた最初の行事。七月十三日(土)に「夏祭り」が開催されました。この日は、利用者・保護者・職員総勢一五七名での参加となりました。夏の暑さや高齢虚弱を考慮し、会場は地域交流ホームで二部構成の企画となりました。一部は、鈴木次郎さんの開会の挨拶で始まり、「男神輿」の登場、岡部理事長挨拶後、「男神輿」の登場でお祭りムードが盛り上がり、続いていすみ学園初の「女神輿」の登場。男性に負けず元氣一杯で保護者数名も一緒に練り歩きました。一層盛り上がった所で盆踊りが開始。太鼓を囲んで皆さん元氣一杯に踊っていました。利用者の永野さんと金子さんは、猛練習をした太鼓のバチさばきを披露しました。



第二部は、大屋栄養士の「食」に関する講話を聞きながらのおやつタイムです。各テーブルに保護者会からのおやつやフルーツ・フランクフルト等が配られ、お腹も心も満たされました。最後に「いすみ学園の歴史」の上映。映像が流れると、懐かしく拝見された方もいました。若い頃の自分を見付けることが出来たでしょうか。あつという間に夏祭りが終了となりましたが、無事終了出来たことに感謝致します。保護者の皆さん、職員の皆さんご協力ありがとうございました。

(支援員 岩瀬佳代子)

健康診断



日 時：令和元年八月三十日(金)
九時三十分～

場 所：いすみ学園交流ホームにて
検査内容：血液・尿・心電図
対象者：いすみ学園利用者全員

今年度から夷隅医師会診療所巡回健診をお願いし、交流ホームを会場に行いました。心電図は初めてでしたが、利用者の方は協力的で問題なく終える事が出来ました。先生より、2階での心電図検査は階段昇降の負担をなくし、1階で検診できるように予定しますとお心遣いもいただきました。これからも利用者の健康を第一に努めてまいります。



第三者評価



いすみ学園では「東京都福祉サービス第三者評価」を毎年受審しています。これは、第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に公表することにより、利用者に対する情報提供を

行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促す事で、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。



今年度は一般財団法人「日本品質保証機構」に依頼し、6月25日に利用者の方との事前打ち合わせの後、10時半から15時まで、生活介護を利用している全ての利用者60名に10分～15分ずつかけ一人一人じっくりと丁寧に取り組みをしていただきました。毎年実施されているという事もあり、利用者の中にはこの時間を楽しみにしている方もいます。また緊張されている利用者も、優しく丁寧に聞き取りをしていただくことで終始和やかな雰囲気の中で実施することができました。

10月には経営層への聞き取り調査が実施され、利用者調査と併せた評価は「とうきょう福祉ナビゲーション」にて後日公表されます。福祉サービスの質の向上、利用者主体の支援のために今後も毎年実施していきます。

(権利擁護委員会 岩瀬祐三子)

救急救命講習




八月十日土曜日、毎年行っている夷隅郡市広域市町村圏事務組合の救急隊の方を招いての講習に参加させていただきました。



前半は心肺蘇生とAEDを用いた救護処置の要領、後半では消火器の適切な使用方法に関しての講習でした。講師の方の指導もとても分かり易く丁寧で終始和やかな雰囲気でしたが、講習途中に出勤命令が出るというハプニングもあり、こちらも身が引き締まる思いでした。心肺蘇生やAED操作は学校や前職でも習ったと思うのですが、なかなかしつかり思い出すことが出来ず曖昧です。また、救命救急の方法も年々少しずつ変化し、指導を受けて初めて知ることもあります。毎年講習を行ってもらえることはとてもありがたく、多忙な救急隊の方に実際に指導していただけるといことは、とても貴重

実習生の声



重なことだと感じました。私は今回の講習で出来た対処を実際の現場で冷静に行動出来るかどうか少し自信がありません。ただ講習を受けなかったら行動すら出来ないかもしれません。訓練であつても経験をいうものはとても大切だと思っています。これから先、実際に現場に遭遇することがあるかもしれない。その時は冷静に今回学んだことをしっかりと思い出して行動したいと思います。

学ぶことが多くとても充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

(支援員 大木 崇司)

私は、今回初めて作業班のある障がい者施設で実習をさせて頂きました。まず、障がいを持つ方はどこまでの作業ができるのか、職員はどのような支援をするのか疑問に感じていました。

私は、食品加工班に入り実習をさせて頂きました。利用者の方々がする作業として、らっきょうを切る人やサイズを合わせて選別をする人、ジャムの仕上げの手伝いをする人がいました。皆さんそれぞれ自分の作業を理解していて、ゆっくり確実に作業を進めていくと感じました。又、職員の支援として、火を使う作業や出荷できる状態にする作業を主としており、利用者一人ひとりの特徴に合わせた作業を提供し、利用者の方々には危険がないよう支援していました。

利用者の方々にとって日々作業をするという事は、大事なことなのだと実習を通じて感じる事ができました。利用者皆さん、職員の皆さんありがとうございました。

(千葉明德短期大学 山口 若菜)

第35回 槇の里祭のお知らせ

ボランティア同時募集

「槇の里祭」「休日余暇活動」と一緒に盛り上げてくれる方、福祉に興味・関心のある方を募集しています。左記連絡先までご連絡ください。

社会福祉法人 槇の里 いすみ学園
連絡先 〒二九八〇一〇一一

住所 千葉県いすみ市万木二二二
TEL 〇四七〇一八六一三四一二
FAX 〇四七〇一八六一四九三三五

学園祭実行委員 長田・岩瀬(祐)・高地
ボランティア担当 高地・松本

バザー用品大募集

皆様のご協力をお願い致します。

◎新品ならなんでもOK!!
雑貨・シャツ・文具・食品
衣類(クリーニング済みの物)等
注意 食品は、賞味期限内でお願い致します。

送り先 千葉県いすみ市万木二二二
いすみ学園
TEL 〇四七〇一八六一三四一二

担当 鶴岡



令和元年 10月19日(土) 10:30~14:00

※雨天は翌日 20日(日)

会場：いすみ学園園庭
駐車場：万木区民センター駐車場(バス送迎有り)

<ステージイベント>

和太鼓演奏「風」 /よさこい舞演「輝翔連」
大正琴 演奏 / 赤い羽根共同募金 大抽選会

<各種イベント>

各種模擬店 / 近隣施設・地域商店販売
協賛会社商品・激安バザー/ 作業製品の展示即売会

お問い合わせ先

〒298-0111 千葉県いすみ市万木22番地
社会福祉法人 槇の里 いすみ学園
TEL0470-86-3412 FAX0470-86-4835

社会福祉法人
東京都共同募金会より
マイクروبバス助成
事務次長 鶴岡田鶴子

マイクروبバスは、作業材料の仕入れ・イベント商品の搬入等作業全般に使用しており更に、利用者の通院・クラブ活動・地域交流・余暇指導、又、利用者が楽しみにしている帰宅に欠かせない車輦なのでとても助かります。



又、職員及び利用者の作業意欲は著しく向上し、学園の日常活動は大幅に改善された事と利用者に安全・安心した生活を提供しつづける行動範囲も広がり楽しい生活を送ることが出来ます。全国の皆様からの善意に感謝申し上げますと共に、マイクروبバスを大切に使用させて頂きます。



いすみ学園初代事務長丸浦岩夫様より、愛車2台を寄付していただきました。利用者の為、大切に使用していきます。

よろしくお願ひします



グループホーム 最首京子

初めまして。以前は介護ヘルパーとして働いていました。寮生の方々の生活は戸惑いの多い状況ですが、学ぶことも多く自身の成長もさせて頂いております。学園の方々の縁を大切にしながら頑張つてまいります。宜しくお願ひ致します。



生活支援員 國藤真由美

7月よりお世話になっております。国藤真由美と申します。以前は老人施設や病院で介護の仕事をしておりました。いすみ学園のような施設は初めてで慣れないことも多く、利用者の方々から学ぶことも沢山あり、日々勉強中であります。まだまだ未熟ではありますが、利用者の方に安心して楽しく過ごしていただけるように努めていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。



生活支援員 羽賀悠希

皆さま初めまして、年度の途中ではあります。が七月から支援員として務めさせていただきます。以前は複合型介護施設の特設施設入居者生活介護で働いておりました。今は先輩職員の方々、利用される皆様に教えて頂きながらではありますが、利用者の方々がその人らしい生活が送れるよう日々努めてまいりますので宜しくお願ひ申し上げます。

平成30年度 社会福祉法人 槇の里 決算報告

貸借対照表

平成31年3月31日 現在

資産の部	
科目	金額
流動資産	473,373,861
現金預金	408,886,843
事業未収金	60,227,018
未収補助金	4,260,000
固定資産	647,617,327
基本財産	415,051,237
土地(基本財産)	108,353,723
建物(基本財産)	306,697,514
その他の固定資産	232,566,090
建物	8,245,964
構築物	10,622,103
車輦運搬具	15
器具及び備品	11,477,503
権利	111,300
ソフトウェア	711,413
退職給付引当資産	32,297,522
人件費積立資産	10,000,000
修繕費積立資産	10,000,000
施設整備等積立資産	107,500,000
建設積立資産	41,570,000
その他の固定資産	30,270
資産の部合計	1,120,991,188

負債の部	
科目	金額
流動負債	52,089,013
事業未払金	20,734,129
1年以内返済予定設備資金借入金	0
職員預り金	7,287,987
賞与引当金	24,066,897
固定負債	32,297,522
退職給与引当金	32,297,522
負債の部合計	84,386,535

純資産の部	
科目	金額
基本金	276,311,079
国庫補助金等特別積立金	151,199,236
その他の積立金	169,070,000
人件費積立金	10,000,000
修繕費積立金	10,000,000
施設整備等積立金	107,500,000
建設積立金	41,570,000
次期繰越活動収支差額	440,024,338
次期繰越活動収支差額(うち当期活動収支差額)	▲39,449,276
純資産の部合計	1,036,604,653
負債及び純資産の部合計	1,120,991,188

資金収支計算書

自平成30年4月1日～至平成31年3月31日

科目		予算	決算	差異
事業活動による収支	収入			
	障害福祉サービス等事業収入	407,053,000	405,406,368	1,646,632
	経常経費寄附金収入	4,052,000	4,051,960	40
	借入金利息補助金収入	42,000	42,300	▲300
	受取利息配当金収入	35,000	34,735	265
	その他の収入	13,973,000	13,521,517	451,483
	事業活動収入計	425,155,000	423,056,880	2,098,120
	支出			
	人件費支出	300,119,000	303,789,516	▲3,670,516
	事業費支出	63,835,000	62,353,145	1,481,855
事務費支出	54,869,000	54,559,690	309,310	
支払利息支出	43,000	42,300	700	
事業活動支出計	418,866,000	420,744,651	▲1,878,651	
事業活動資金収支差額	6,289,000	2,312,229	3,976,771	
施設整備等による収支	収入			
	施設設備等補助金収入	4,260,000	4,980,000	▲720,000
	施設設備等寄附金収入	4,700,000	4,700,000	0
	施設整備等収入計	8,960,000	9,680,000	▲720,000
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	4,700,000	4,700,000	0
	固定資産取得支出	13,169,000	13,167,800	1,200
	施設整備等支出計	17,869,000	17,867,800	1,200
	施設整備等資金収支差額	▲8,909,000	▲8,187,800	▲721,200
	その他の活動による収支			
収入				
積立資産取崩収入	14,500,000	13,191,380	1,308,620	
その他の活動収入計	14,500,000	13,191,380	1,308,620	
支出				
積立資産支出	2,479,000	2,484,000	▲5,000	
その他の活動支出計	2,479,000	2,484,000	▲5,000	
その他の活動資金収支差額	12,021,000	10,707,380	1,313,620	
予備費支出	9,401,000	0	9,401,000	
当期資金収支差額合計	0	4,831,809	▲4,831,809	
前期末支払資金残高	440,519,936	440,519,936	0	
当期末支払資金残高	440,519,936	445,351,745	▲4,831,809	

事業活動計算書

自平成30年4月1日～至平成31年3月31日

科目		金額
サービス活動増減の部	収益	
	障害福祉サービス等事業収益	405,406,368
	経常経費寄附金収益	4,051,960
	サービス活動収益計	409,458,328
	費用	
	人件費	329,649,033
	事業費	62,353,145
	事務費	54,559,722
	減価償却費	26,105,682
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲10,139,175
サービス活動費用計	462,528,407	
サービス活動増減差額	▲53,070,079	
サービス活動外増減の部	収益	
	借入金利息補助金収益	42,300
	受取利息配当金収益	34,735
	その他のサービス活動外収益	13,521,520
	サービス活動外収益計	13,598,555
	費用	
	支払利息	42,300
	サービス活動外費用計	42,300
	サービス活動外増減差額	13,556,255
	経常増減差額	▲39,513,824
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	4,980,000
	施設設備等寄附金収益	4,700,000
	特別収益計	9,680,000
	費用	
	基本金組入額	4,700,000
	固定資産売却損・処分損	97,379
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除去等)	▲161,927
	国庫補助金等特別積立金積立額	4,980,000
	特別費用計	9,615,452
特別増減差額	64,548	
当期活動増減差額	▲39,449,276	
繰越活動増減の部	前期繰越活動収支差額	466,973,614
	当期末繰越活動増減差額	427,524,338
	その他の積立金取崩額	12,500,000
	次期繰越活動増減差額	440,024,338

編集後記

県内各地で台風の被害が出ております。職員一同気を引き締めて支援を行ってまいります。(高地 優輔)

題字は 式田和好 さんです。

感謝録

次の皆様方から、たくさんの御寄附を頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

〔寄附金〕

- ・高田美和
- ・千葉ノミ(株)
- ・田澤房子
- ・新田聡子
- ・石濱規子
- ・岸上れいな
- ・齋田奈々子
- ・鈴木紫帆
- ・小林亜紀子
- ・西内恭子
- ・伊藤富美子
- ・藤田剛志
- ・谷口順子
- ・岡野達雄
- ・藤野洋一
- ・中村洋子
- ・八幡学園保護者
- ・伊藤富美子
- ・吉平めぐみ
- ・山内浩佳
- ・菊里裕子
- ・(株)新環境設計
- ・服部依子
- ・石合
- ・野口由美
- ・川会計事務所
- ・野川信太郎
- ・金田いよ子
- ・(株)新健食
- ・杷野英子
- ・高田美和
- ・片岡手芸店
- ・阿部栄子
- ・平なおこ
- ・岩田
- ・佐藤里子
- ・中尾雄二
- ・茂木
- ・いたみや
- ・谷川陽子
- ・林田浩美
- ・木村奈津江
- ・(株)フアミ
- ・みらい
- ・石野薬局
- ・関明水
- ・(株)新清
- ・ハイツ
- ・(株)創建長鳴
- ・山藤摩利子
- ・齋藤久美子
- ・千葉葉きみ子
- ・早川史子
- ・(有)田辺印刷
- ・内山重浩
- ・高橋美智子
- ・(株)ビーアイ
- ・(株)メラマツク
- ・(有)松本設備工業
- ・磯貝智子
- ・(有)高山商店
- ・やまよ農園
- ・鹿野クミ
- ・水谷もと
- ・宮山くみ
- ・立花佑介
- ・山口朝香
- ・池内由美
- ・四倉久美子
- ・長谷川範子
- ・斎藤澄子
- ・小林直子
- ・(有)源氏商店
- ・新井淳子
- ・川西一寿
- ・高田ひろこ
- ・宮島朋子
- ・鈴木和美
- ・土田美子
- ・雨下あやめ
- ・遠藤正子
- ・星野和寅
- ・榎本康夫
- ・榎本照子
- ・川名克則
- ・伊津野佐知子
- ・宮崎くみ
- ・福田千晶